令和5 年度発行「書道Ⅱ」シラバス案

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 書道Ⅱ | 単位数 | 2単位 |
| 学科・学年・学級 | ○○○○科　第○○学年　○○組 |

１　学習の目標

|  |  |
| --- | --- |
| 学習の目標 | 書道の創造的な諸活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。  (1) 書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付けるようにする。  (2) 書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりすることができるようにする。  (3)主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。 |
| 使用教科書・副教材等 | 東京書籍「書道Ⅱ」 |

２　学習計画

（１）年間指導計画案

| 月 | 分野 | 学習内容  （教科書の構成） | | 教科書頁 | 配当時数 | 学習活動例 | 学習指導要領の内容 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 四月　～　九月 |  | 漢字の書体とその特徴 | | 4-5 | 適宜 | ・書道Ⅰで学習した漢字の書体の成立を踏まえて、それぞれの書体の特徴について確認する。 | B(1)イ(ｱ) (ｲ) (ｳ) |
| 漢字の書 | 篆書 | 篆書の美 | 6-7 | 1 | ・書道Ⅰの篆書の学習を踏まえて、篆書の成立と変遷、書風の特徴について理解を深める。 | A(2)ア(ｱ)、  イ(ｱ) (ｲ)、  ウ(ｱ) (ｲ)  B(1)ア(ｱ)、  イ(ｱ)(ｲ)(ｳ)(ｴ)  共通事項(1)ア､イ |
| 「石鼓文」  「甲骨文」  「大盂鼎」  コラム：青銅器の種類と役割 | 8-13 | 5 | ・書道Ⅰの篆書の学習を踏まえて、個性的で多様な篆書の表現を鑑賞し、その美について理解を深める。  ・篆書の古典の概要を理解し、用筆、運筆、字形の取り方などについて学び、「表現の特徴」を手がかりとして臨書する。 |
|  | 篆刻・刻字 | 印の歴史と用法  創作  －落款印を刻そう－  鑑賞  －篆刻の美や風趣を味わおう－  創作  －表札を彫ろう－ | 14-21 | 6 | ・印の歴史や役割、用法などを理解する。  ・書道Ⅰの篆刻の創作を踏まえ、創作の手順に従って落款印を刻し、押印する。  ・創作の手順に従って、彫刻刀を使い表札などを制作する。 | A(2)ア(ｱ)、  イ(ｱ) (ｲ)、  ウ(ｱ) (ｲ)  B(1)ア(ｱ)、  イ(ｱ)(ｲ)(ｳ)(ｴ)  共通事項(1)ア､イ |
|  | 隷書 | 隷書の美 | 22-23 | 1 | ・書道Ⅰの隷書の学習を踏まえて、隷書の成立と変遷、書風の特徴について理解を深める。 | A(2)ア(ｱ)、  イ(ｱ) (ｲ)、  ウ(ｱ) (ｲ)  B(1)ア(ｱ)、  イ(ｱ)(ｲ)(ｳ)(ｴ)  共通事項(1)ア､イ |
|  | 「礼器碑」  「張遷碑」  「開通褒斜道刻石」  「居延漢簡」  コラム：書写材料の変遷  －木簡から紙へ－ | 24-29 | 5 | ・書道Ⅰの隷書の学習を踏まえて、個性的で多様な隷書の表現を鑑賞し、その美について理解を深める。  ・隷書の古典の概要を理解し、用筆、運筆、字形の取り方などについて学び、「表現の特徴」を手がかりとして臨書する。 |
|  | 草書 | 草書の美 | 30-31 | 1 | ・書道Ⅰの草書の学習を踏まえて、草書の成立と変遷、書風の特徴について理解を深める。 | A(2)ア(ｱ)、  イ(ｱ) (ｲ)  ウ(ｱ) (ｲ)  B(1)ア(ｱ)、  イ(ｱ)(ｲ)(ｳ)(ｴ)  共通事項(1)ア､イ |
|  | 「書譜」  「十七帖」  「自叙帖」  「国申文帖」  コラム：芸術の書へ  －形式の変化とともに－ | 32-39 | 5 | ・書道Ⅰの草書の学習を踏まえて、個性的で多様な草書の表現を鑑賞し、その美について理解を深める。  ・草書の古典の概要を理解し、用筆、運筆、字形の取り方などについて学び、「表現の特徴」を手がかりとして臨書する。 |
|  | 行書 | 「集王聖教序」  「温泉銘」  「祭姪文稿」  「蜀素帖」  「伊都内親王願文」 | 40-45 | 6 | ・書道Ⅰの行書の学習を踏まえて、個性的で多様な行書の表現を鑑賞し、その美について理解を深める。  ・行書の古典の概要を理解し、用筆、運筆、字形の取り方などについて学び、「表現の特徴」を手がかりとして臨書する。 | A(2)ア(ｱ)、  イ(ｱ) (ｲ)、  ウ(ｱ) (ｲ)  B(1)ア(ｱ)、  イ(ｱ)(ｲ)(ｳ)(ｴ)  共通事項(1)ア､イ |
|  | 楷書 | 「張猛龍碑」  「鄭羲下碑」  「孟法師碑」  「薦季直表」  「楽毅論」 | 46-51 | 6 | ・書道Ⅰの楷書の学習を踏まえて、個性的で多様な楷書の表現を鑑賞し、その美について理解を深める。  ・楷書の古典の概要を理解し、用筆、運筆、字形の取り方などについて学び、「表現の特徴」を手がかりとして臨書する。 | A(2)ア(ｱ)、  イ(ｱ) (ｲ)、  ウ(ｱ) (ｲ)  B(1)ア(ｱ)、  イ(ｱ)(ｲ)(ｳ)(ｴ)  共通事項(1)ア､イ |
|  | 創作  ─漢詩を書こう─  鑑賞  ─書の美や風趣を味わおう─  コラム：座右の銘  －自らの思いを書に託して－ | | 52-56 | 4 | ・創作の手順に従い、書道Ⅰ・Ⅱの漢字の書で学んだ古典の特徴や技法を生かして、創作し、相互評価をする。  ・近現代の作品を鑑賞する。 | A(2)ア(ｱ) (ｲ)、  イ(ｱ) (ｲ)、  ウ(ｱ) (ｲ)  B(1)ア(ｱ)、  イ(ｱ) (ｲ) (ｴ) |
| 十月　～　十二月 | 仮名の書 | 仮名の美  ─古今和歌集に見る展開─  仮名一覧表  ─平仮名・変体仮名─  連綿 | | 58-63 | ３ | ・書道Ⅰの学習を踏まえて、仮名の書の発展と古今和歌集との関係について理解し、鑑賞する。  ・書道Ⅰの学習を踏まえて、平仮名と変体仮名の用筆、字形の取り方について理解を深める。  ・書道Ⅰの学習を踏まえて、連綿による文字の表情の変化と、その効果について理解を深める。 | A(3)イ(ｱ) (ｲ)、  ウ(ｱ)  B(1)ア(ｱ)、  イ(ｱ)(ｲ)(ｳ)(ｴ)  共通事項(1)ア､イ |
| 「高野切第一種」  コラム：伝称筆者  「本願寺本三十六人家集」  「針切」 | | 64-69 | 6 | ・書道Ⅰの学習を踏まえて、平安時代の代表的な古筆や多様な表現の古筆を鑑賞し、仮名表現について理解を深める。  ・仮名の古筆の美について理解し、用筆、運筆、字形の取り方などについて学び、「表現の特徴」を手がかりとして臨書する。 | A(3)ア(ｱ) 、  イ(ｱ) (ｲ)、  ウ(ｱ) (ｲ)  B(1)ア(ｱ)、  イ(ｱ)(ｲ)(ｳ)(ｴ)  共通事項(1)ア､イ |
| 行書きの美  ─曼殊院本古今和歌集─  散らし書きの美  ─寸松庵色紙─  コラム：料紙の世界 | | 70-75 | 4 | ・仮名の古筆を鑑賞し、行書きと散らし書きの美について理解を深める。  ・書道Ⅰの学習を踏まえて、行書きと散らし書きの基本的技法を確かめる。  ・行書きや散らし書きの変化の付け方を理解する。 | A(3)ア(ｱ)、  イ(ｱ) (ｲ)、  ウ(ｱ) (ｲ)  B(1)ア(ｱ)、  イ(ｱ)(ｲ)(ｳ)(ｴ)  共通事項(1)ア､イ |
| 創作  ─小倉百人一首を書こう─  鑑賞  ─書の美や風趣を味わおう─  コラム：紫式部と書 | | 76-80 | 4 | ・創作の手順に従い、仮名の書で学んだ古筆の特徴や技法を生かして、創作し、相互評価をする。  ・近現代の作品を鑑賞する。 | A(3)ア(ｱ) (ｲ)、  イ(ｱ) (ｲ)、  ウ(ｱ) (ｲ)  B(1)ア(ｱ)、  イ(ｱ) (ｲ) (ｴ)  共通事項(1)ア､イ |
|  | 漢字仮名交じりの書 | 古典を生かした表現  自分の意図に応じた表現  言葉と書の調和 | | 82-93 | 6 | ・書道Ⅰを踏まえて、古典や古筆の特徴を生かして、漢字と仮名を調和させたり構成を工夫したりして書き、漢字と仮名の調和する表現を理解する。  ・書道Ⅰを踏まえ、書体・書風や用具・用材の工夫による表現の効果について理解し、自分の意図に応じた表現を工夫し技能を身に付ける。  ・文字の大きさや配列など、紙面の構成を工夫し、表現に変化をつけた際にもたらされる効果について理解する。  ・表現したい言葉と表現したい感興に応じて、どのような技能や構成が必要となるかを理解し、作品への生かし方を構想し工夫する | A(1)ア(ｱ) (ｲ) (ｳ)、  イ(ｱ) (ｲ)、  ウ(ｱ) (ｲ)  B(1)ア(ｱ)、  イ(ｱ) (ｲ) (ｳ)  共通事項(1)ア､イ |
| 一月　～　三月 | 創作  ─心に響いた言葉を書こう─  鑑賞  ─書の美や風趣を味わおう─ | | 94-97 | 4 | ・創作の手順に従い、表現の工夫で学んだ技法を生かして、意図に基づいて創作し、相互評価をする。  ・近現代の作品を鑑賞する。 | A(1)ア(ｱ) (ｲ) (ｳ)、  イ(ｱ) (ｲ)、  ウ(ｱ) (ｲ)  B(1) ア(ｱ) (ｲ)、  イ(ｱ)(ｲ)(ｳ)(ｴ)  共通事項(1) ア､イ |
|  | 書で発信しよう  心に触れる手紙 | | 98-101 | 3 | ・教科書に掲載されている学校のPRポスター例について考え、目的としている表現や、そのための工夫について考え、話し合う。  ・書の表現がもたらす効果を活用している例について考え、話し合う。  ・手書きで書かれた手紙について鑑賞する。  ・それぞれが書かれた背景や内容について考え、そこから受ける印象について話し合い、理解する。 | A(1)ア(ｱ) (ｲ) (ｳ)、  イ(ｱ) (ｲ)、  ウ(ｱ) (ｲ)  B(1) ア(ｱ) (ｲ)、  イ(ｱ)(ｲ)(ｳ)(ｴ)  共通事項(1) ア､イ |
|  | 資料 | 書の表現と歴史  書道史略年表  書を支える人々  鑑賞の言葉を広げよう | | 102-115 | 適宜 |  | B(1)イ (ｲ) (ｳ) (ｴ) |

|  |  |
| --- | --- |
| 評価 | 評価は具体的に次のものを対象にする。  ・表現を工夫して表した成果（作品）  ・表現の意図・構想・表現の工夫の取り組みの記録（ワークシート等）  ・考えたことや意見交換の記録（ワークシート等）  ・発言（活動の様子）と、その記録（ワークシート等）  ・作品制作への取り組み状況（活動の様子）  ・学習活動への参加状況（出席状況・学習態度・意見発表等）  一年間の評定は上記の内容を総合的に判断する。 |